





# 衛星データで農業課題の解決に取り組むサ グリ株式会社が約 1.55 億円の資金調達を 実施

地域金融機関・自治体と連携し、地域への農地状況把握アプリ「ACTABA」展開を加速

サグリ株式会社(本社:兵庫県丹波市、代表取締役:坪井 俊輔、以下「当社」)は、リアルテックファンド(所在地:東京都墨田区、代表:丸幸弘、永田暁彦)をリード投資家として、みなとキャピタル株式会社、池田泉州キャピタル株式会社、株式会社広島ベンチャーキャピタル、ひょうご神戸スタートアップファンド、他エンジェル投資家等を引受先とする総額約 1.55 億円の第三者割当増資を実施致しました。

当社は衛星データと AI 技術・区画技術を掛け合わせたデータプラットフォームを構築し農業分野におけるアジア地域の課題解決に取り組む、日本発スタートアップです。



#### ■ACTABA 概要

#### 【現在の社会課題】

- ・日本国内では農業従事者の高齢化等に伴い、耕作されなくなった農地、いわゆる耕作放棄地の 増加が危惧されています。
- ・全国の自治体において、毎年農地の利用状況調査が農地法に基づき義務付けられており、耕作放棄地や荒廃した農地の把握や早期改善は、国・自治体にとって重要な課題です。
- ・また実際の調査は、自治体の農業委員会委員が区域ごとに離散した農地を歩き回って目視確認し、結果を紙の地図に書き込み、更にその結果を自治体の職員がシステムへ入力するプロセスを踏みます。こうした調査の効率化や生産性向上を図ることで、適時・適切な実態把握が自治体に求められています。

こうした課題に対して、当社では自治体向けにデジタル地図上で耕作放棄地を把握するアプリ「ACTABA(アクタバ)」を展開し、農業委員会等による調査の負担軽減や耕作放棄地の早期発見を通じて有効活用・地域活性化に寄与します。

# 【ACTABA の仕組み】



衛星写真を使用し、農地の荒れ具合を人工知能(AI)が判断し、耕作放棄地とみられる土地を赤色で表示します。放棄されている疑い(耕作放棄地率)の高い場所ほど、赤色が濃くなります。



耕作放棄地の判定精度は現状でも9割を超える正答率であり、また全国の自治体で広くお使いいただくことで ACTABA 自身が学習することから、アプリの精度が更に高まります。

### 【ACTABA を土台とした営農サービスの概要】

今後当社では、ACTABA の普及を土台として、農業におけるデータプラットフォーム構築を目指し、農家個人に向けた営農サービスを展開致します。

衛星データによる土壌解析技術を用いた土壌診断を行い、施肥量適正化による「肥料コスト削減」や土壌より生じる温室効果ガスの把握と削減という「地球環境改善」から着手し、植生解析に

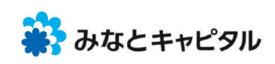
よる収量増加・環境にやさしい農業を展開することにより、国内の農家のみならず、東南アジア諸国を始めとする海外の農家の収益向上にも貢献することを目指します。

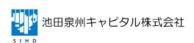
# ■資金調達の目的と使途

農地状況把握アプリ「ACTABA」について、投資家である地域金融機関とも連携しながら、全国における市町村のユーザー獲得・導入を目指します。また、併せて営農サービスのために衛星データによる土壌解析技術の開発と実装を実施し、アプリの開発完了を目指します。

#### 2引受先











- ・リアルテックファンド (https://www.realtech.holdings/fund) 所在地:東京都墨田区、代表:丸幸弘、永田 暁彦
- ・みなとキャピタル株式会社(http://www.minatocp.co.jp/) 所在地:兵庫県神戸市、代表:山下 勝司
- ・池田泉州キャピタル株式会社(http://www.ikegin-c.jp/) 所在地:大阪府大阪市、代表:平松 勝己
- ・株式会社広島ベンチャーキャピタル(https://www.h-vc.co.jp/) 所在地:広島県広島市、代表: 岩本 宏
- ・ひょうご神戸スタートアップファンド(https://www.city.kobe.lg.jp/)ファンド運営者: Bonds Investment Group 株式会社
- ・他 エンジェル投資家等

# ■サグリ株式会社について

設立年月:2018年6月

所在地:兵庫県丹波市氷上町常楽 725-1

資本金: 174 百万円(準備金含む)

事業内容:衛星データ解析および機械学習による事業創出

公式サイト: https://sagri.tokyo/

<お問い合わせ先>

サグリ株式会社

https://sagri.tokyo/contact/